

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
簿記 I bookkeeping I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	上級ビジネス実務士選択必修 ビジネス実務士選択必修	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営学 I・II、ビジネス実務総論 I・II、会計学 I、経営財務論 I・II				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学 I、ビジネス実務総論 I				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
山崎好一	非常勤講師室	講義中内で指示する。		授業中に指示します
授業の概要				
簿記 Iには2つのクラス(國分・山崎クラス)が設置されている。クラス分けは学生と相談の上、決定する。本授業(山崎クラス)は既に簿記を学び、更に簿記知識を深める人を対象とする。國分クラスは、初めて簿記を学ぶ人を対象とする。本授業では日商簿記3級の範囲の前半の部分の学び、簿記の基本である取引とその仕訳を中心に学習する。検定合格を目指す人がいれば相談の上、別途指導する。				
授業の目標				
①簿記上の取引の認識とその仕訳をすることができるようにする。 ②仕訳帳に仕分することと、総勘定元帳への転記ができるようにする。 ③転記が正しいかをチェックするために試算表の作成ができるようにする。				
授業の方法				
演習 テキストに沿った講義と問題演習で簿記の基本を習得する。				
学習の成果(学習成果)				
①簿記上の取引と仕訳を理解して帳簿(元帳)への記載や計算といった簿記的な処理ができる。 ②日常生活を数値的思考で捉え、説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	シラバスの説明、概要説明、簿記とは			
第2回目	簿記上の取引と仕訳の8要素			
第3回目	仕訳と転記			
第4回目	試算表の作成(簿記一巡の流れより)			
第5回目	現金と仕訳、転記			
第6回目	収益と仕訳、転記			

第7回目	費用と仕訳、転記	
第8回目	当座預金と仕訳、転記	
第9回目	商品売買 I と仕訳、転記、小テスト	
第10回目	商品売買 II と仕訳、転記	
第11回目	その他の取引 I と仕訳、転記	
第12回目	その他の取引 II と仕訳、転記	
第13回目	試算表の作成	
第14回目	期末試験実施	
第15回目	講義のまとめ(講義全体を振り返る)	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高点(S)としては、無遅刻・無欠席で、積極的に授業に参加すること
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	最高点(S)としては、90%の正解を得ること
試験	60%	最高点(S)としては、90%の正解を得ること
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
合格テキスト日商簿記3級(TAC出版) 合格トレーニング日商簿記3級(TAC出版)		
履修上の留意点・ルール		
①電卓と筆記用具は必ず持参する。 ②グループワークに積極的に参加する。 ③分りにくい点があれば積極的に質問する。 ④携帯電話の使用(送受信・その他の使用)は禁止(緊急の場合は講師に申し出ること)。		